

04 主催者のあいさつⅡ

★主催者のあいさつ

(司会：川崎 敏明さん)

「主催者のあいさつ」は「01 開催までの経緯」と同じなので省略させていただきます。

それでは、具体的に当日は、どういう状況にあったか。あるいはどういう思いをもったかというところを順に語っていただきたいと思います。自己紹介も兼ねてよろしくお願いします。

まず、元日の能登半島地震の青山彩光苑の様子、職員の野岸さん、よろしくお願いします。

(職員 野岸さん)

当日、私が勤務していたわけではないのですが、年末年始の休日体制ということで職員数は5名。4時過ぎで早番の方が2人抜け、実際は3名の職員がいました。4時あがり、というところに残っている職員もいるかと思ったのですが、少人数の職員で対応しなくてはいけないということでした。

まず、最初の地震があって落ち着くまでの間、利用者の様子を見ていたわけですが、最初の地震が収まって、実際みんな避難させなければならない、というところで大変苦労したと聞いています。

避難については、広場があるのですが、そこにみんな一旦外に出る形をとって頂くことにしました。寒い中、皆さんに外に出るということで、防寒対策、布団や衣類を着こみながら、外に出て避難したと聞いています。

その後、大きな揺れが来たということで、その間、皆さんは、寒い思いをして不安な中で過ごしておられました。余震が続く中でも、一旦、大きな揺れが落ち着いたということで、皆さんに建物の中に入っていただくことにしました。

ほとんど部屋の中はいろいろなものが散乱していて、一箇所に皆さん集まっていたいて、ベッドもホールに移動して過ごしていただきました。その頃になると、夕食の時間帯ということで通常は食事になるのですが、とても落ち着いて